

# 高透明／ 耐寒容器向けポリプロピレン

開発ステージ

構想・探索

開発中

開発完了

製品化完了

キーワード

減量化

モノマテリアル

素材代替

用途

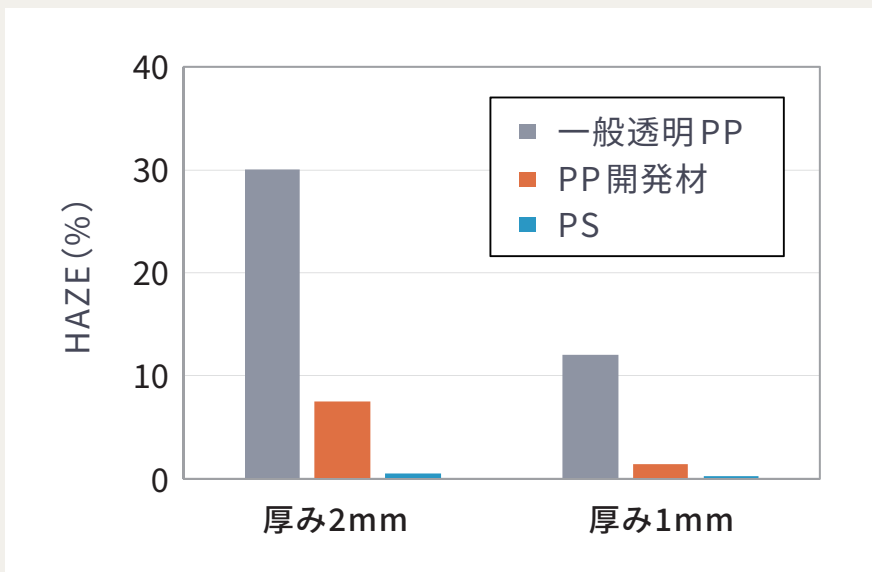
食品容器／化粧品容器

背景

- PPはPSやPETと比較して軽量であり、透明分野にもニーズがある
- 材料設計の工夫により、実用的な力学的性質と高い透明性を両立する材料を開発
- 本分野にPPを適用することにより、モノマテリアル化等が期待される

## 高透明PP

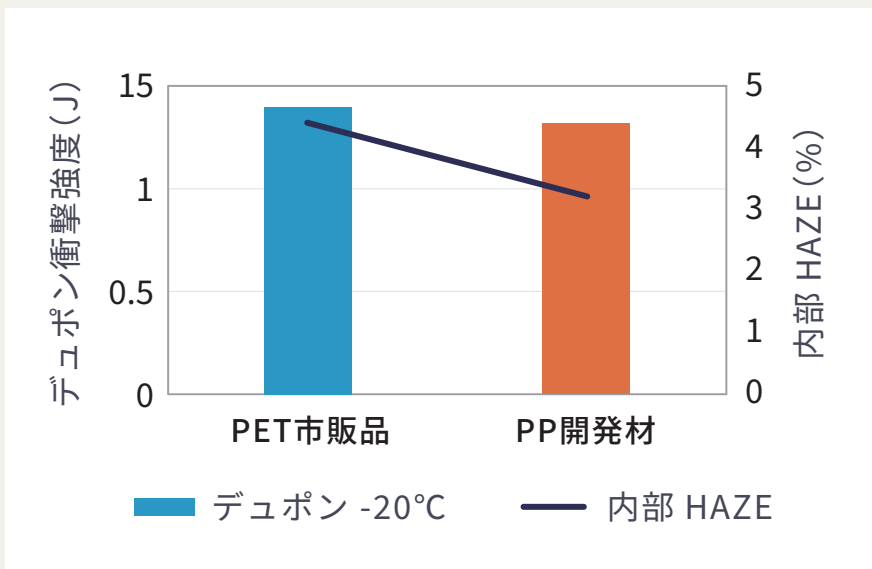
従来の透明PPと同程度の物性を有しながら、さらに高い透明性を有する



		一般透明PP (従来材)	開発材	PS
MFR	g/10min	30	30	7
曲げ弾性率	MPa	1,350	1,450	3,150
シャルピー衝撃強度	kJ/m <sup>2</sup>	4.5	4.0	1.5
HAZE (1mm)	%	15	1.5	<0.5

## 耐寒容器向けPP

市販PET容器と同等の透明性と低温衝撃性を有する



		市販品 (PET)	開発材
デュポン衝撃強度 (-20°C)	J	1.4	1.3
HAZE (0.23mm)	%	4.4	3.2

お問い合わせ |  日本ポリプロ株式会社

**免責事項** 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。